

樹木だより

## おにぐるみの果実

夏の日が残っていた8月の末、末枯れ葉のいくらかも見えない枝先に、オニグルミの果実が垂れ下がっていた。ポール先端の鎌で切り落した果柄に、8個の堅果がついていた。それをナイフで切ったら、まだ殻（内果皮）は堅くなく、果肉（子葉）も脂肪がのってなかった。この野生種は鬼の名のしめすように殻が厚いため、食用には植栽されない。栽培グルミ（菓子グルミ）は堅果を1〜3個ずつつけ、殻が極めて薄く肉も大きい。近い日に寒さに強いという郷土種の個性を引きつぎ、品種改良によって優秀な栽培品がつくられるのを期待したい。



(防災科 斎藤新一郎)